

	最終予算額	歳出決算額	歳入決算内訳				
			分担金使用料	国県支出金	一般会計繰入金	地方債	その他
簡易水道特別会計	840,134	777,257	129,102	120,000	346,986	79,700	101,469

簡易水道更新事業 450,600,960円 (生活課)

[総括]

田口地区における水道管更新工事は、平成30年度より特定環境保全公共下水道事業（下水道事業）と同時施工する形で着手しました。なお、下水道事業の一部供用開始に合わせ順次進めております。田口地区の水道管はかなり老朽化しており、工事にあたっては耐震性のある高密度ポリ管へ更新することで実施しています。

また、設楽町簡易水道事業耐震化等整備計画では、老朽管の更新に際しては、耐震管を採用することで災害に強い水道施設の推進を図ることとしています。

関連計画：設楽町簡易水道事業耐震化等整備計画（H29～R2）：生活課

老朽化した水道管を更新するとともに耐震管を採用し、災害に強い給水施設の整備を進めるための計画

[実績成果]

1 配管更新延長

H29	H30	比較	備考
2,609m	5,965m	3,356m	H30目標値：2,500m、 H30実績：配水管更新工事（田口他）HPPEφ50～150

2 管路の耐震化率

H29	H30	比較	備考
14.6%	15.9%	1.3%	(耐震管延長／管路総延長) H30・・・39.1km/246.0km=15.9% R3.3.31目標値：17.9%

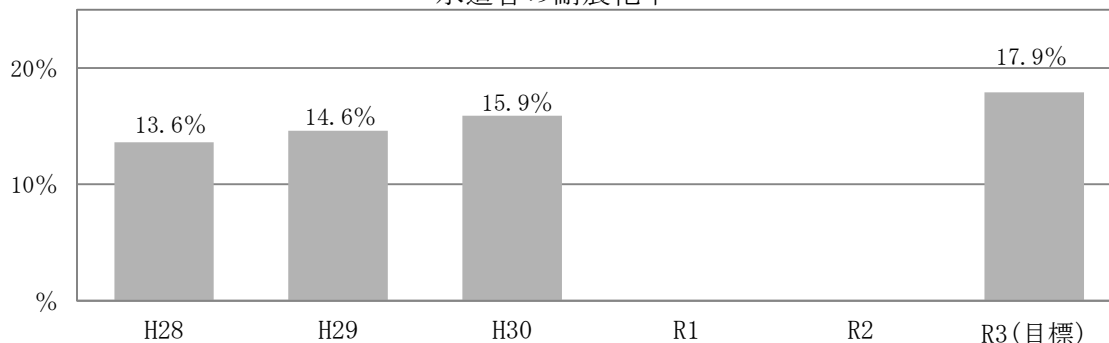
3 管路の耐震適合率

H29	H30	比較	備考
57.6%	58.8%	1.2%	(耐震適合性のある延長／管路総延長) H30・・・144.7km/246.0km=58.8% R3.3.31目標値：60.9%

[主な指標]

町総合計画

■水道管の耐震化率



水道施設管理事業 226,946,226 円 (生活課)

[総括]

水道管の漏水修繕の他、計装機器類の取替を実施しました。また、安全で安心な水道水供給のための各薬剤の購入を計画的に行うとともに、適正な浄水場等施設の維持管理に努めました。

県道和市清崎線などの道路改良工事に伴う水道管移設工事を実施しました。

[実績成果]

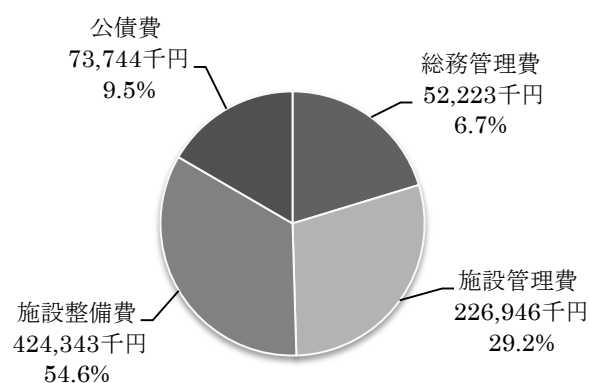
科目	H29	H30	比較
施設管理費（全体）	128,057,931 円	226,946,226 円	98,888,295 円
需用費（修繕費）	47,691,720 円	37,922,040 円	△9,769,680 円
需用費（消耗品費）	2,155,344 円	2,300,478 円	145,134 円
需用費（光熱水費）	20,064,182 円	21,372,818 円	1,308,636 円
工事請負費	34,255,440 円	137,910,032 円	103,654,592 円
備品購入費	75,600 円	1,075,032 円	999,432 円

平成 29 年度と比較し、施設管理費全体では前年度比 約 9.9 千万円の増額となりました。

主に、工事請負費の中の水道管移設工事が要因となっております。

[主な指標]

歳出内訳



簡易水道使用料 127,374,310円 (生活課)

[総括]

水道使用料は、設楽町簡易水道統合計画に基づき、平成25年10月から料金の統一をしましたが、給水人口の減少に伴い料金収入も減少傾向となっています。

近年、公営企業法に基づいた公営企業会計の導入が求められており、令和5年度末までに移行できるよう準備を進めています。併せて、経営戦略の策定も進めており、簡易水道の将来像を想定した施設の縮小計画や水道使用料の値上げを視野に入れた方策を検討しています。

[実績成果]

	H29	H30	比較
給水人口	4,772人	4,613人	△159人
給水件数	2,600件	2,586件	△14件
水道使用料	130,244,280円	127,374,310円	△2,869,970円

平成31年4月1日現在で、給水人口4,613人、給水件数2,586件となっており、平成29年度と比較し、給水人口で△159人(前年度比△3.3%)、給水件数△14件(前年度比△0.5%)、水道使用料△2,869,970円(前年度比△2.2%)となりました。

水道使用料は、歳入のうち約16%で、他会計繰入金が約46%と大半を占めています。また、収納率は、98.1%(前年度比△0.4%)、未収入額が2,372,750円となりました。

[主な指標]

